

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	北村・武田・田中	実習	3	社会福祉士 (SS)	1, 2, 3	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>本科目は実習科目である。社会福祉施設や期間の役割を実際的に理解するとともに、社会福祉専門職の役割や業務の実際を学ぶ。また、社会福祉援助技術現場実習Ⅰで学んだ知見を元にして課題を設定し、実習に臨む。そして、現場での職員や利用者との関わり等から問題意識を深め、ソーシャルワーク実践に必要な実践的な能力を修得する。</p>						
到達目標	<p>① 社会福祉専門職の役割や業務の実際を実践的に理解する。 ② 支援計画の作成ができるようになる。 ③ 社会福祉施設や機関の地域での役割について理解する。</p>						
学習内容							
<p>【現場実習において学ぶこと】</p> <p>社会福祉援助技術現場実習Ⅰでの反省点を元に、下記の4点を中心に実践と考察を深める。</p> <p>① 実践能力を養う 学校で学んできたソーシャルワーク実践に必要な知識と技術を使い、社会福祉士としての価値と倫理に基づいて支援を行うための実践能力を養う。</p> <p>② 利用者やその関係者と援助関係を構築する 援助関係の構築のために、利用者、家族との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成に努める。また、施設、事業者、機関、団体とも円滑に関係を構築できるよう努める。</p> <p>③ 生活上のニーズに対応するために、社会資源を活用した支援計画を作成する 適切なアセスメントを行なったうえで、「社会資源」を活用することに着目し、支援計画をたて、実施して評価を行う。その際には、ネットワーキングやコーディネーションなどの技術も実践的に取り入れる。さらに、ソーシャルアクションへつなげられるような視点や方法も修得する。</p> <p>④ 地域における分野横断的・業務横断的な関係形成について学ぶ 現場実習Ⅰで理解した他職種連携などの実践をもとに、分野横断的・業務横断的な関係を形成するための具体的な関係形成に必要な技術（例えばコーディネーション、ネゴシエーション等）を修得する。</p>							
予習内容 復習内容	<p>毎日の実習ごとに行う実習記録作成、それに対する実習評価担当者からの実習ノートへのコメントに対するふりかえりを行うことで、翌日の実習への準備と当日の復習を行う。</p>						
教科書	<p>使用せず</p>						
成績評価	<p>配属先実習施設での実習評価 70%、実習ノート・巡回指導時の状況等 30%、をあわせて総合的に評価する。</p>						
実務経験							
その他 特記事項	<p>特になし</p>						